

(2022年5月6日)

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル5F  
E-mail: shikaku@npo-nak.com URL: <https://npo-nak.com>

NPO 日本アーカイブ協会・岐阜女子大学\*・沖縄女子短期大学・学習システム研究会

(\*岐阜女子大学デジタルアーカイブ専攻・研究所、沖縄サテライト校)

## 図書館におけるボードゲームの効果について ～図書館のボードゲームは文化へ～

安居景都、櫛彩見（岐阜女子大学）

### 1. ボードゲームの人気は上昇中

近年、ボードゲームの市場が拡大している。アナログゲームのみを販売しているイベントであるゲームマーケットでは、イベントを開始した2000年から2021年にかけて、規模や出展数、参加者数が増加している(図)。また、アナログゲームの国内出荷ベースも、2016年の127億円から2018年の133億円と増加傾向になっている。さらには、コロナ禍によりボードゲームの注目度が上昇している。このように、市場や生活の中において、ボードゲームが周知されるようになった。

これを受けて、近年では図書館でもボードゲームを取り上げており、三重県鈴鹿市立図書館でボードゲームイベントを開催したり<sup>[1]</sup>、熊本県の大津町立おおづ図書館ではボードゲームの館外貸し出しを行ったりと<sup>[2]</sup>、ボードゲームに関わるイベント・活動が行われている。一方で、ボードゲームを図書館で扱うことによる問題点が明らかになった。本研究では、図書館におけるボードゲームの扱い方、ボードゲームが図書館に与える効果を調査し、図書館におけるボードゲームの在り方について提案することを目的とする。

### 2. ボードゲームとは何か

ゲームの歴史やボードゲームについて文献調査を行った。

#### (1) ゲームの歴史

ゲームとは、勝負、勝敗を決めることである。条件として守るべきルール(決めごと)があり、人間や環境が必要であるとされているのが多数の意見である。ゲームの歴史は非常に古くからあり、最古のゲームは紀元前3500年ほど前に古代エジプトで生まれたセネトであるといわれている。

#### (2) ボードゲームの定義

ボードゲームの定義についてはWeb、文献上で様々な表記があったが、今回は図書館におけるボードゲームについて調査するため、井上ら(2018)による「近現代に生まれたゲームのうち、

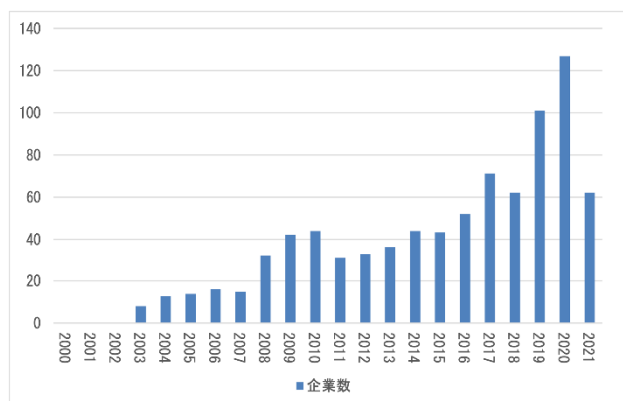


図 ゲームマーケット出展企業数  
(春のみ、2020年は中止のため出展予定数)  
ゲームマーケット公式HP (<https://gamemarket.jp>)より

電源を伴わず、盤(ボード)やカードを用いて遊ぶゲーム」を適用した<sup>[3]</sup>。

### 3. 図書館ではボードゲームをどのように扱っているか

図書館におけるボードゲームの役割について、Web 調査と文献調査を行った。そして、実際に図書館で行われたボードゲームのイベントについて調査し、図書館でボードゲームを扱うメリット、デメリットを明らかにする。

#### (1)図書館におけるボードゲームの役割

図書館におけるボードゲームの役割としては3点挙げられる。1つ目は図書館の認知である。アウトリーチ活動として、普段図書館に来ない人への興味のきっかけとしてボードゲームの使用は効果的である。2つ目は図書との関連付けである。ボードゲームに関連付けた書籍を紹介することができるのはメリットであるといえる。3つ目はコミュニティの形成である。年代を超えて同じ趣味を持つコミュニティの形成の一助になる。以上の3点が、ボードゲームの役割として明らかになった。

#### (2)図書館でのボードゲームイベント調査

図書館で開催されたボードゲームイベントには、子どものみ、大人のみ、親子のみと参加する対象を限定したものから、年齢を問わないものまで、多岐にわたることが分かった。また1度の開催で終わることなく、2年間で10回以上の開催を行ったり、規模を拡大したり長期休暇を狙うなど、何度もボードゲームのイベントを行う図書館もあった。図書館のイベント報告ページには、新しく貸出登録を行った人がいることや、初めての人や年代を超えた交流を行えたことなどの記述がみられ、イベント開催による効果が確認できた。対面でのイベントが厳しいため、オンラインという既存のイベントにない新しい形式でイベントを行う図書館もあった。

### 4. 図書館におけるボードゲームの役割と課題

ボードゲームを図書館で扱う点について、既存の図書を中心とした方法では得られない図書館のPR活動、それにより特に普段図書館を利用しない層などの利用の促進につながることで、世代などの普段では交流の機会がない人間とのコミュニケーションの機会となったことが分かり、図書館におけるボードゲームの役割を事例調査でも確認できた。ボードゲームという新たな視点を用いたイベントは、図書館にとって非常に有効であった。さらにボードゲームには文化としての側面もあるため、情報資源としての役割を持っていることが分かった。

一方で課題として挙げられるのは、コミュニケーションを行うゲームゆえに騒音問題が発生することである。図書館においてボードゲームは有効であるため、開催場所や閉館後など、時間を考慮することで騒音問題に対応し、イベントに対する十分な説明を行うことによりトラブルの発生を抑えるなどをし、今後も開催すべきイベントであると考えられる。

#### 参考文献

- [1] 中日新聞 Web「図書館でボードゲーム」広がる <https://www.chunichi.co.jp/article/20286> (アクセス日: 2021.12.23)
- [2] 大津町立おおづ図書館 ボードゲームの貸出ができます <https://www.ozu-lib.jp/boardgame/> (アクセス日: 2022.1.14)
- [3] 井上ら, "JLA 図書館実践シリーズ 39 図書館とゲーム イベントから収集へ", 日本図書館協会, 2018